

浮世絵おじさんフェスティバル

2026 年 1 月 6 日（火）～ 3 月 1 日（日）

前期 1 月 6 日（火）～ 2 月 1 日（日）

後期 2 月 5 日（木）～ 3 月 1 日（日）※前後期で全点展示替え



全作品、主役はおじさん！ 浮世絵の〈おじフェス〉開催

浮世絵の風景画などの片隅には、しばしば味わい深い人物—“おじさん”たちが描かれています。楽しそうに旅をしたり、仕事に励んだり、グルメに舌鼓を打ったり。彼らは決して絵の脇役にとどまらず、見れば見るほど個性豊かで、愛嬌にあふれています。

本展では、前後期あわせて 150 点を超える作品を通して、浮世絵に描かれた多彩なおじさんたちを紹介。歌川広重をはじめとした作風も時代も異なる絵師たちの作品が一堂に会する、まさに〈おじさんフェスティバル〉です。おじさんを通して浮世絵の細部を見つめ直すことで、作品の新たな魅力や絵師たちの意外な個性を再発見していただけることでしょう。

※本展は中山道広重美術館で好評を博した「浮世絵おじさんフェスティバル」展のコンセプトをもとに、新たに構成した展覧会です。

① 広重だけじゃない！ 北斎、国芳、清親らが描く“おじさん”も多数紹介

近年、歌川広重を中心に、風景画などに小さく描かれた味わい深い人物たちが注目を集め、その魅力を紹介する展覧会が各地で開催されています。太田記念美術館では、2023 年の「広重おじさん図譜」以来、約 3 年ぶりとなる“おじさん展”を開催。今回は歌川広重によるお馴染みのおじさんたちはもちろん、葛飾北斎、歌川国芳から小林清親など、幅広い浮世絵師たちの作品を大幅に増やし、より多彩な“おじさんワールド”をお楽しみいただけます。

② “推しおじ”を探して、浮世絵の魅力を再発見

誰もが知る浮世絵の名作も、おじさんにあえて注目してみると、人物の表情や仕草、服装の描き分けなど、これまで見過ごしていた細部の魅力が浮かび上がります。絵の隅にさりげなく描かれたおじさんたちは、絵師が肩の力を抜いて筆をふるった存在であり、そこには絵師本来の個性や、緻密な観察力、確かな描写力も見えてくるのです。あなただけの“推しおじ”を探して、浮世絵の新たな魅力と奥深さを再発見してみてください。



(1) 歌川広重「東海道五十三次之内 鞠子」(後期)

(2) 歌川広重「東海道五拾三次之内 御油 旅人留女」(後期)



(3) 歌川広重「東海道五拾三次之内 四日市 三重川」(前期)

(4) 葛飾北斎「諸国瀧廻 東都奏ヶ岡の滝」(後期)



(5) 歌川国芳「東都名所 新吉原」(前期)

(6) 溪斎英泉「岐岨街道 鴻巣吹上富士遠望」(後期)



(7) 小林清親「本所御蔵橋」(前期)



(8) 歌川広重「東海道 卅四 五十三次 二川」(前期)



学芸員によるスライドトーク

展覧会の見どころを担当学芸員が解説します。

2026年1月14日(水)、1月22日(木)、1月30日(金)、2月13日(金)、2月18日(水)

各回 10:50 より 約 30 分程度 定員 50 名

当日 10:30 より美術館受付にて整理券を配布します。

タイトル 浮世絵おじさんフェスティバル

英タイトル Ukiyo-e Ojisan Festival

会 期 2026年1月6日(火)～3月1日(日)

前期 1月6日(火)～2月1日(日)

後期 2月5日(木)～3月1日(日) ※前後期で全点展示替え

開館時間 午前10時30分～午後5時30分(入館5時まで)

休館日 月曜日(1/12と2/23は開館)、1/13、2/3-4(展示替えのため)、2/24

入館料 一般 1000円 大高生 700円 中学生以下無料

アクセス JR山手線 原宿駅(表参道口)より徒歩5分

東京メトロ千代田線・副都心線 明治神宮前駅(5番出口)より徒歩3分

問合せ 050-5541-8600 (ハローダイヤル)

公式サイト <https://www.ukiyoe-ota-muse.jp/>

公式X(旧Twitter) @ukiyoeota

会場・主催 太田記念美術館 〒150-0001 東京都渋谷区神宮前1-10-10

TEL 03-3403-0880 FAX 03-3470-5994

E-mail media@ukiyoe-ota-muse.jp

企画担当：渡邊晃

広報担当：金塚さくら



太田記念美術館
公式サイト



画像申請・取材
の申込はこちら